



地域の皆さんにお知らせ

先日、糸我小学校校舎屋上に物置を設置しました。

そして今まで給食室や校舎内に分散して備蓄していた大規模災害時用物資（食料、水、燃料、ストーブ、発電機、毛布、簡易トイレ、投光器、ブルーシート、パーティション組立用段ボール、工具等々）を屋上物置並びに3階～屋上の階段踊り場付近に集約して備蓄することにしたので、地域の皆様もお知りおきください。屋上に出るドアの鍵ならびに屋上物置の鍵は、屋上出口付近にキーボックスを設置し入れておきます。

起きてほしくないことですが、洪水、大地震等の大規模災害発生時には、これらの物資を積極的に活用していただきたいと思えます。



糸我小学校の特色ある取り組み

去る8月30日、1学期に図書費10万円を寄贈いただいた有田2000ロータリークラブ様の定例会で、糸我小学校の特色ある取り組みについて報告させていただきました。その内容のあらましを紹介させていただきます。



糸我小学校は今年で創立141年目を迎える児童数80名、職員数16名（非常勤職員を含む）の小規模校です。学校規模では有田市内7小学校中最も小さく、有田地方24小学校中14番目の規模となっています。

小規模校である本校は、そのメリットを最大限に生かし、活力ある学校を作り、児童達の知・徳・体のバランスのとれた成長を実現するため様々な実践を行っていますが、その柱となっている特色ある取り組み3点をご紹介します。

特色①図書館教育の充実・活性化

本校では学校図書館がもつ読書センター、学習センターとしての役割を充実・発展させ児童達の学力向上と豊かな心の育成に取り組んでいます。

一例を挙げると各教員が授業の中で子供たちを学校図書館に連れて行き、蔵書を活用し教室での学習内容をさらに掘り下げて調べたり、学習内容に関連する本を読ませたりという発展的な学習に特に力を入れています。

また、各教科の学習に関係する本を、常に各教室にも陳列し、常時子供たちが自由に手に取って見られるようにしています。本の読み聞かせや貸し出しも大変盛んで、昼休みだけでなく放課後も図書室を開放しています。

これらの活動には本校学校司書や教員だけでなく、図書ボランティアとして参加していただいている地域住民有志の方々にも大変協力いただいています。

その結果、本校児童は全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査では、「1日平均読書時間」「図書館利用回数」「読書は好きか」等の項目で全国平均、本県平均を大きく上回る好ましい数値が出ています。

また、少し前になりますが平成24年度には図書館教育で文部科学大臣表彰も受賞することができました。

学校図書館の蔵書の数は約6500冊と児童数80名のわりに大変多いですが、中には古い本も多く、蔵書の計画的な刷新が喫緊の課題と考えています。

特色②地域に開かれた学校作り、地域連携の積極的推進

人は人との関わり、交わりの中で育つという観点からすると、本校のような小規模校では、学校だけの取り組みでは児童の知・徳・体のバランスのとれた健全な育成には自ずと限界があると考え、開かれた学校作り（学校を外部に開き、地域の方々や外部関係機関と連携した取り組みをできるだけ多く行うこと）に意識的に努めています。学校だけでがんばるより、地域社会と協力して子供を育てる方がずっと効果的でメリットは大きいと考え、各種出前講座・出前授業も活用し、地域住民、各種関係機関を始め外部の人々をどんどん呼び込むことや、子供と教員がどんどん地域に出て行って地域の行事、活動に積極的に参加することに意識して取り組んでいます。

その点で、本校の取り組みで最も知られているのは糸我地区青少年育成会をはじめ市や県の関係部局のサポートを受けながら17年間続いている「田んぼの学校」の取り組みですが、他にも「自然探検隊」「芋茶粥の集い」「伝統芸能保存活動」「水生生物観察会」「おもしろサイエンス教室」「地域の夏祭り」等々の取り組みがあり、それらへの児童、教職員の積極的な参加に努めています。

特色③縦割り児童集団（異年齢児童集団）活動の積極的な推進

本校では、日々の当番活動、児童会活動や運動会等の行事において縦割り児童集団（異年齢児童集団）活動が大変盛んですが、その中で最も有名な取り組みは今年で33年目を迎えた縦割り児童集団（異年齢児童集団）で実施する春の遠足（糸我峠越えで栖原海岸まで往復10Kmを歩く遠足）です。

確かに、低学年の児童達にとって糸我峠越えの10Kmの遠足は大変過酷ですが、高学年の児童や教職員らに励まされ、助けられながら全行程を歩ききることは低学年の児童達にとっては大きな自信と成長につながります。また高学年の児童達にとってもただ歩くだけではなく低学年の児童達を思いやり、サポートしながら歩ききることで、高学年としてまた学校のリーダーとしての大きな自信と自覚につながります。

毎年、遠足の後で学校に戻ってきた児童達は、どの子も達成感と自信に満ちあふれた顔であることが大変印象的です。

今後とも、本校では児童達の成長に有益と考えられる取り組みを学校教育活動の中にどんどん取り入れ、児童達の知・徳・体バランスのとれた健全な成長を目指していきたいと考えています。

